

5

文章を視写しよう(1)

名前

月 日

☆課題

- ① 次の文章1～6を原稿用紙に書き写そう(一字も間違えず、正確に書きましょう。)
- ② 文章に出てくる語句の意味を調べよう。(スマホ・PCで調べてもOKです。)
- ③ 文章の内容に合うよう、自分でタイトルをつけよう。

タイトル

1 はつとよいアイデアが浮かんでも、それを書き留めなかったため、思い出せないという苦い経験をもつ人は多いはずだ。「瞬のひらめきは、消えてしまうのもあつという間である。」

2 ノーベル化学賞受賞者の福井謙一さんは枕元だけではなく、テレビを見る時も、散歩の時も鉛筆とメモ帳を用意していたという。メモをしないで覚えているような思いつきに、大したものはないようである。メモをしないと、すぐに忘れてしまうような着想こそ貴重なのである。「 学問の創造」

3 自宅や職場のあちこちに付箋やメモ帳を置き、つまらないアイデアでも、すぐにメモしようと身がまえる我が身だ。ノーベル賞学者が地道な努力を重ねていたことを知り、なぜか安心してしまった。

4 発明は全て、苦しまぎれの知恵だ。アイデアは、苦しんでいる人のみに与えられている特典である。「と語ったのは自動車会社創業者の本田宗一郎さん。苦しまないで生まれる発想など、本物ではないということだ。」

5 苦しんで生まれたアイデアをどう生かすのか。米コンピューターソフトウェア最大手会社の創業者ビル・ゲイツ氏の言葉が興味深い。自分が出した企画やアイデアを、少なくとも一回は人に笑われるようであれば、独創的な発想をしているとはいえない。「

6 人がまねできない仕事をする条件は嘲笑を恐れぬ勇氣。どんな仕事にも共通することかもしれない。

◆語句の意味調べ

語句	意味
着想	〈例〉心に浮かんだ思いつき。
特典	
創業	
独創	
嘲笑	